

2020～私たちに与えられた試練のとき

(一社) 岩手県障がい者スポーツ協会 会長 藤井 公博



本来、2020年は、スポーツ界にとって希望の年となるはずでした。しかし、新型コロナウイルスの影響により、スポーツ界だけではなく、社会全体が大きなダメージを受けることとなりました。

当協会も3月から、すべての事業の中止・延期を余儀なくされ、先行きが見えない不安の中で準備をしていた第22回岩手県障がい者スポーツ大会は中止。その後、国の緊急事態宣言に続き、鹿児島県で開催される予定であった全国障害者スポーツ大会の今年度開催が見送られるなど事業計画は大きく変更されることとなりました。

緊急事態宣言解除後、6月から当協会の自主事業を再開、7月からは県委託事業が再開されました。再開にあたり、各関係団体からのガイドラインに従い、事業内容を調整し、コロナ対策を講じた上で運営を行っていますが、事業再開に対する賛否の声も聞こえてきます。スポーツも大事だが命を守ることの方が大事ではないかという声もありました。たしかにそのとおりの正論であり、反論の余地はありません。しかし、私たちは、常に何らかのリスクを抱え、それを回避する工夫をしながら生活しています。コロナとの真っ向勝負は絶対に避けるべきですが、何もせずに白旗を上げることはしません。事業実施にあたっては、感染状況を見極め、実施内容を調整しながら、準備を進めていきたいと思えます。

このような中、プロスポーツの再開により、社会全体が元気をもらったように思います。県内でも高校スポーツの県大会や東北大会の開催、1試合限定ではありましたが、甲子園において春の選抜代表校が交流試合を行うなど、少しずつ明るい話題も出てまいりました。

組織運営においても、対面式での会議はできず、当協会理事会、総会、関係団体における諸会議含め、書面での決議を行う機会が増えております。最近、リモート会議なるものも増え、ある種の便利さを感じるとともに少々ストレスを感じることがあります。

さて、昨年度の理事会において収益事業を行うことが承認されました。その第1弾である応援シャツ『SUKE de KERO』の販売もおかげさまで順調です。今後、賛助会員の皆様からのご支援に加え、積極的に自助努力を行い、財政基盤を整備してまいりたいと思えます。

ご存知のとおり、これまで応援していただいた多くの企業・団体がコロナ禍により、窮地に立たされています。今こそ、私たちが応援する番ではないでしょうか。わずかばかりの気持ちはありますが、先の定時総会において、著しく経営が悪化した場合、今年度分の賛助会費の免除を行うことといたしました。この窮地を支え合い、乗り越えたいと切に願います。

2020年は私たちに与えられた新たな試練であることは間違いありません。しかし、それと同時に新たな価値観や新たなつながりを生み出す機会であると前向きに捉えていきたいと思えます。どうか皆様のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS



■特集記事

- P1/会長あいさつ
- P2/第1回ユニバーサル麻雀大会を開催
- P3/初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催
- P4/初級車いすインストラクター養成講習会を開催

■活動報告 (P5~P6)

県民共済・寄付金贈呈式/TEAM IWATE 練習再開/ポッチャ・卓球バレーの体験会/紫波町身障協・卓球バレー交流会/車いすカーリング練習会/マリンスポーツ体験教室/ポッチャ講習会

■掲示板 (P7)

行事予定 (10月以降) / 応援シャツ / COCOA 紹介 / 等

■会員紹介 (P8)

ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会
岩手県障がい者スポーツ指導者協議会
岩手県卓球バレー協会

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626

E-mail: info@iwate-adaptive.or.jp

第1回ユニバーサル麻雀大会を開催

当協会初の e スポーツ事業です～コロナ禍における新たな取組み～

オンラインを活用～自宅からも参加 OK

期日：令和2年7月4日（土）

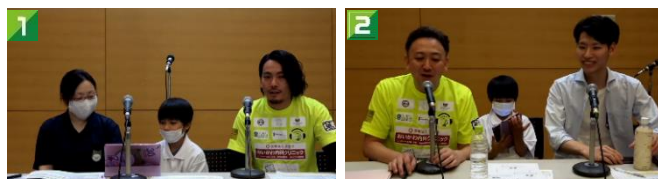
会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

*本事業を実施するに至った理由

オンラインの活用は、コロナ禍以前より検討していました。そのきっかけは、発明家・吉藤オリィさんの特集番組です。内容は、自宅から外出困難な方が遠隔操作ロボット（Orihime）を活用して飲食店で勤務したり、ALS 患者が視線入力でロボットを操作し、支援者との意思伝達を実現するなど、テクノロジーの進化が生活を豊かにすることの可能性を示すものでした。

しかし、当協会が行う事業には、この番組に出演されていた皆さんが参加できるプログラムがないのが現状です。これは、「Sports For All」を活動理念の1つとして

いる当協会にとって、大きな課題です。この吉藤さんの取組みは、この課題解決のヒントとなります。今回の取組みはその出発点と考えました。オンラインでポッチャ大会やロボットで卓球バレーに参加など大きな可能性を感じています。



▲①岩手 e スポーツ協会の代表である遠藤さん（右）からご挨拶をいただいた。画像左は事務局の小坂、真ん中は会場に来ていた選手のお子さん。②総司会を務めていただいた事務局長の柘植（つげ）さん（左）、解説の岩間さん（右）とてもわかりやすく解説いただいた。

意外に?盛り上がった大会の様子

当協会として初めての e スポーツ事業である『ユニバーサル麻雀大会』は、オンライン参加&Youtube ライブ配信と初めてづくしの取組みでした。

当日は、参加者 20 名のうち、会場にいたのは 3 名！（スタッフの方が多い状況でした）他は自宅等からの参加でしたので何か不思議な感じでした。参加者との連絡は、チャットツール（Microsoft Teams 等）を活用しましたが、対戦時間になっても参加者への連絡が上手く伝わらず、冷や冷やする場面もありました。



▲①②当日の様子は Youtube にて配信した。オンライン参加が中心であったが、会場でプレーする選手もいるため、実際より、5 分の時間差配信としている。なお、会場には、観戦用に大型スクリーンを設置した。②スクリーンでは最大 4 つの対戦カードを表示できる。なお、選手はプレーヤー名でエントリーしている。

*対戦の様子

1 回戦と 2 回戦はランダム対戦で上位 16 名が 3 回戦に進出。ここからは各組上位 2 名が次のステージに進みます。よって、準決勝は 8 名⇒決勝は 4 名となります。決勝戦は、三つ巴の一進一退の攻防が続きましたが、最終局では劇的な展開が待っていました。実力者の「まなべのどか」さんが一歩リードで迎えた最終局、対面でのリーチに反応した「まなべのどか」さん。トップの座を守るためには、安パイ切りに移行した次の瞬間。安パイと思えたイーソーが「捲りの新田」さんの当たり牌だったのです。しかも、跳満！「捲りの新田」さんの見事が逆転優勝となりました。その瞬間、会場は大歓声・・・ではなく、スタッフの『お～～』という声が響いていたのでした。



▲①当日の日程。全員参加の予選を 2 ラウンド行い、その結果により、ベスト 16 を決定。各組の上位 2 名が準決勝へ。さらに各組の上位 2 名（計 4 名）が決勝へ進んだ。②③決勝戦は最終局で大逆転となった。④最終順位です。

新たな連携と今後の展開

岩手県 e スポーツ協会の皆さんに事業企画から当日の運営まで大変お世話になりました。あらためて感謝を申し上げます。また、事業全体をコーディネートいただいた（株）アウトレジャー様、NTT 東日本岩手支店様にも感謝を申し上げます。

今回は麻雀を採用しました。その理由は、手指の操作スピードを求められない点です。また、麻雀は普及率も高く、障がい種別や年齢、性別を問わずに参加することも魅力です。今後は、自宅からでも参加できるオンラインをベースに、時間制限を工夫して、視線入力での参加もできるように調整していきたいと思えます。

また、e スポーツ協会として障がい者事業所等への訪問型の体験教室にも取り組まれていると情報をいただきました。このような機会を活用しながら、より多くの方が e スポーツでつながる取組みを実施していきたいと思えます。次回の企画もお楽しみに！

e スポーツに関する県内情報は以下までお問合せください。
岩手県 e スポーツ連合県央支部／岩手県 e スポーツ協会
〒020-0846 盛岡市流通センター北 1 丁目 4-19
<http://esports-iwate.mystrikingly.com/>

初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催しました!

10年ぶりに基準カリキュラムが改正

今年度より、基準カリキュラムが変更となりました。これは、2011年のスポーツ基本法の改正から続く、障がい者スポーツを取り巻く環境の変化に伴うものです。また、ここ数年、スポーツ指導者の暴力・ハラスメント、組織や団体のガバナンス・コンプライアンス違反など社会課題として取り上げられています。

以上の背景から、新しいカリキュラムには①スポーツのインテグリティ、②スポーツの価値観について、そして注目すべきは③地域との連携、といった科目が盛り込まれていることです。時間数は、21時間以上となり、トータルでは、3時間増えたこととなります。

今回の改正が、資格取得後、スムーズに地域における活動に移行できるしくみ作りにつながることを期待したいと思います。

受講者は一般スポーツの関係者が中心

受講者は、15名と例年より少なめでした。これは、新型コロナウイルスの影響で開催決定が遅れたこと、同じくコロナの関係で受講を控える方がいたことが原因とされます。

続いて受講者の顔ぶれをみると、ほとんどが、一般の(いわゆる健常者)スポーツ振興に携わる方々で高校・大学教員、スポーツ推進委員、医療・リハビリ専門職、総合型SC関係者等です。福祉関係者は2名でした。これが岩手の特色です。この動きを上手く活用して、地域におけるスポーツ参加環境を整備していくことも本講習会の目的としています。

一部科目は、リモート講義を実施

コロナ禍において、初級講習会を開催するのは全国でも岩手がトップバッターとなったようです。

何となく、ピリピリモードでの開催となりましたが、県外在住の講師からリモートでの講義開催打診がありました。これを受け、2つの科目についてはリモート講義を行っております。しかし、通常のノートPCを使用しているため、受講者にとっては、聞き取りづらい部分もあったように思います。今後は、リモート講義用にビデオカメラ、スピーカー等の機材購入を検討してまいりたいと思います。

毎度、担当いただく講師の皆さんには、実際に現場で役立つ内容を中心にお話するようリクエストしております。ご無理を言って申し訳なく思いつつも、おかげさまで本当に充実した3日間となりました。あらためて講師の皆様方にもお礼申し上げます。



▲①15名の受講者と記念撮影。マスクをしていると表情がわかりませんね、②障がいの理解(精神障がい)／盛岡市立病院作業療法主査 佐々木 昇 氏、③障がいの理解／岩手県立療育センター 発達障がい支援係長 長葎 康紀 氏、④コロナ対策の一つで机は1名で使用し、前後ずらして着席している、⑤リモート講義の様子。研修室にはWi-Fiがなく、急速、LANケーブルにて回線を引いた。⑥スポーツ指導上の留意点／一般社団法人コ・インベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏、⑦『コミュニケーションスキルの基礎』の講義シーン

初級障がい者スポーツ指導員養成講習会カリキュラム及び講師一覧 (@ふれあいランド岩手)

期日	時間	時数	科目	講師	会場
7/23 (木)	9:00~	-	受付		研修室
	9:15~	-	開講式		研修室
	9:30~12:30	3	障がいの理解とスポーツ(身体障害)	大分県障害者スポーツ指導者協議会相談役 堀川 裕二 氏	研修室
	12:30~13:30	-	昼食休憩		
	13:30~15:00	1.5	障がいの理解とスポーツ(精神障害)	盛岡市立病院作業療法主査 佐々木 昇 氏	研修室
7/24 (金)	15:10~16:40	1.5	障がいの理解とスポーツ(知的障害・発達障害)	岩手県立療育センター相談支援部発達障がい支援係長 長葎 康紀 氏	研修室
	9:00~10:30	1.5	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	東北文化学園大学医療福祉学部 准教授 佐藤 敬広 氏	研修室
	10:40~12:10	1.5	全国障害者スポーツ大会の概要		
	12:10~13:00	-	昼食休憩		
	13:00~14:30	1.5	障がい者スポーツの意義と理念	大分県障害者スポーツ指導者協議会相談役 堀川 裕二 氏	研修室
7/25 (土)	14:40~16:10	1.5	各地域の障がい者スポーツ推進の取組み	大分県障害者スポーツ指導者協議会相談役 堀川 裕二 氏 一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会 事務局長 三浦 拓朗 氏 一般社団法人コ・インベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏	研修室
	16:10~16:40	0.5	安全管理(指導現場におけるリスクマネジメント)①	一般社団法人コ・インベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏	研修室
	9:00~12:00	3	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫(※実技含む)	一般社団法人コ・インベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏	研修室
	12:00~13:00	-	昼食休憩		
	13:00~14:30	1.5	障がいのある人との交流(※実技含む)	一般社団法人コ・インベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏	体育館
	14:40~16:10	1.5	コミュニケーションスキルの基礎(※演習を含む)	一般社団法人コ・インベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏	研修室
	16:20~17:50	1.5	障がい者スポーツに関する諸施策	一般社団法人コ・インベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏	研修室
18:00~19:00	1	安全管理(指導現場におけるリスクマネジメント)②	一般社団法人コ・インベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏	研修室	
19:00~19:10	-	諸手続き・閉講式		研修室	

車いすスキル指導者（初級車いすインストラクター）養成講習会を開催しました！

サントリー東北サンさんプロジェクトとは

サントリーグループでは東日本大震災後に『東北サンさんプロジェクト』を立ち上げ、「漁業」「チャレンジスポーツ（障がい者スポーツ）」「子ども」「文化・スポーツ」の分野を中心に総額 108 億円の規模で復興支援に取り組んでいる。このプロジェクト名は、太陽（サン）の光がさんさんとふりそそぐように笑顔と希望を届けたいという思いが込められている。当協会も 2014 年度から様々な支援をいただいている。本講習会もこの一環で開催しました。通算、5 回目の開催となった。

講習概要について

期日：令和 2 年 8 月 8 日（土）～ 9 日（日）
 会場：ふれあいランド岩手・ふれあいホール（1 階）
 講師：一般社団法人コ・イノベーション研究所
 代表理事 橋本 大佑 氏
 アシスタント：高橋 成典 氏 他 1 名（理学療法士）
 受講者：10 名
 内容：2 日間に渡る車いすスキルに関する講義・実技のプログラムを学び、日本車いすインストラクター協会公認の初級車いすインストラクター資格を取得する。

【重要!】本講習会の目的

車いす利用者にとって、車いすスキルの習得は重要である。このスキルにより、生活における行動範囲が決まるといえる。しかし、このスキルを学ぶ機会が少なく、経験則に頼らざるを得ない状況がある。例えば「転んで覚えなさい」である。なぜ学ぶ機会が作られないのか？1 つは入院期間の短縮化、もう 1 つは適切な指導ができるインストラクターの不足が要因であろう。

入院期間の短縮は、患者が様々な生活スキル習得する時間的なゆとりがないのではと考えられる。その結果、車いすスキルを十分に習得する時間は最優先事項ではないことになっている。同じく習得する時間がなければ、当然の如く、指導者は不要となっている。

このことは、退院後、孤立化のリスクにつながる可能性がある。事実、自殺率は一般男性の 12 倍というデータもある。

よって、医療・リハビリ関係者、スポーツ指導者、当事者を対象に上記に記載したスキル習得の大切さとその指導スキルを学び、車いすスキルの指導者を養成しようとする目的で本講習会を開催した。

講習会の内容について

☆第 1 日目（8 月 8 日）

- *車いす操作指導概論Ⅰ
→車いす操作やその指導の意義、障害受容のステップ
- *車いす操作指導概論Ⅱ
→方法論的指導法の構造、車いす操作指導時の配慮
- *車いす指導各論Ⅰ
→前進とブレーキの指導法
- *車いす指導各論Ⅱ
→ターンの指導法、様々なターン

☆第 2 日目（8 月 9 日）

- *車いす指導各論Ⅲ
→バック・段差の指導法
- *車いす指導各論Ⅳ
→介助の指導法
- *車いす操作指導概論Ⅲ
→車いす体験と障害理解、心のバリアフリー
- *車いす操作指導概論Ⅳ
→車いす操作指導時におけるスポーツ・ゲームの活用法
- *グループワーク
→車いす操作習得を含む、プログラム作成
- *クロージング→全体総括、主催者挨拶、修了証授与



▲①受講者は 10 名。理学療法士、作業療法士、車いすバスケット審判、車いすユーザー、障がい者スポーツ施設職員、普通高校教員、支援学校教員など顔ぶれは多彩。②車いすスキルの前にまずはシーティングを学びます。③車いすの漕ぎ始めは、前傾姿勢が大切です！



▲④ゲーム感覚で楽しみながら、車いすの動作特性を体感する。⑤車いすスキルの花形？キャスター上げ。ペアで技術習得とともに、モールステップの指導方法を学ぶ。⑥2 日間に渡り、学習した指導法をペアで指導者と受講者に分かれて実践する。⑦グループワークでは、イベント企画や今後の事業展開等の発表を行った。⑧修了証（日本車いすインストラクター協会公認初級資格）を持って記念撮影。

『県民共済』様より寄付金が贈呈されました！

◆期日：令和2年6月23日（火）／◆会場：岩手県民共済会館（盛岡市）
◆レポート：県民共済様より寄付金をいただきました。県民共済からは理事長の加瀬谷 勝彦 様と総務部長の稲垣 善則 様の2名。当協会からは藤井会長と三浦の2名が出席しました。加瀬谷理事長から激励の挨拶をいただき、その後、藤井会長がお礼の言葉を述べました。その中で『障がいのある人もない人も』『共生社会』という言葉がありました。来年に延期になった東京オリンピック・パラリンピックはそれを象徴する大会とも言えます。そして、障がい者スポーツへの関心度の高まっている今は『共生社会』推進のチャンスです。県民相互に支え合うという県民共済の理念はこの取組みに相通じるものがあります。皆様方からの温かい気持ちを、一人でも多くの方々に届ける取組みに役立てていきたいと思っております。



▲加瀬谷理事長（左）、藤井会長（右）

『TEAM IWATE』活動再開です！

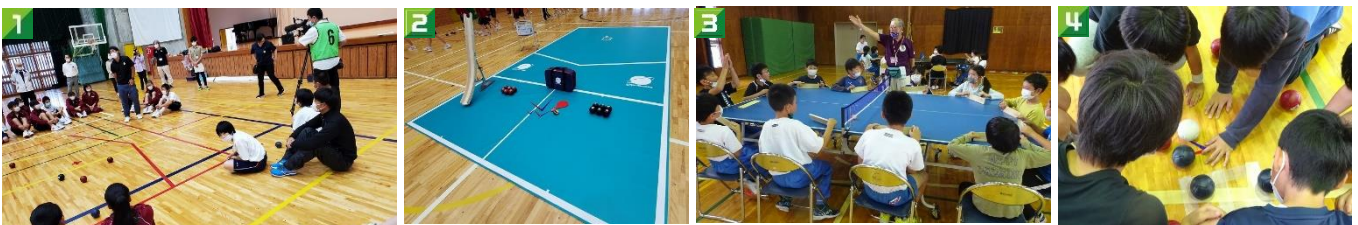
◆レポート：コロナ禍により、国の緊急事態宣言が発出後、すべての事業を休止しておりました。宣言解除後の6月から、TEAM IWATE（全スポ競技各チーム）の練習を再開しました。残念ながら鹿児島での全スポは、今年度開催は見送りとなり、開催時期の検討をしていくとのことです。2023年の佐賀大会でしたが、ここで鹿児島大会を開催し、佐賀大会を2024年で開催することで調整が行われるとのこと。九州開催が2年連続になるかもです？
さて、まずは、フライングディスク、卓球、バレーボール、サッカー、ソフトボール、フットベースボールから練習再開です。久しぶりに選手の皆さんの楽しそうに練習している笑顔が見られて、こちらパワーをもらいました！全スポは中止ですが、皆さんの活動の機会は、どんどん作っていきたくと思っています！



▲①知的障がい者サッカーチームの練習の様子、②フライングディスク練習の様子、③知的障がい者バレーボールチームの練習の様子、④知的障がい者ソフトボールチームの練習の様子。各チームの練習日程は当協会ホームページをご参照ください。

オリパラ教育の一環としてボッチャや卓球バレーを体験

◆レポート：東京オリンピック・パラリンピックは延期となりましたが、昨年あたりから、県内の小中学校においてボッチャや卓球バレーの体験指導依頼をいただく機会が増えている。参加数は、学校の規模や形式にもよるが、60名～200名ぐらい。当初は、パラリンピック種目であるボッチャをリクエストしていただくことが多い。そこで、こちらからももう1種目、卓球バレーの体験を進めている。この2種目は、障がいの有無、年齢・性別を問わずに楽しむことができるユニバーサルスポーツとして注目されている。ただ学校側にとって、「障がいの有無に関わらず」という内容がわかりづらいように思う。そこで、「運動の得意な子、苦手な子も」一緒に楽しめるという表現に変えた方が理解しやすいようである。



▲①、②6月26日（金）、遠野市立遠野中学校にて行われたボッチャ体験。遠野市では24時間テレビ様より、ボッチャ用具、ランプ、レク用ボッチャシートの寄贈を受けた。③、④7月14日（火）、滝沢市立篠木小学校では、卓球バレーとボッチャ体験を行った。

紫波町身障協『卓球バレー交流会』に参加！

◆期日：令和2年7月27日（月）／◆会場：サンビレッジ紫波（紫波町）
◆レポート：市町村の身障団体では、これまで取り組んできたグラウンドゴルフ、ゲートボールへの参加は、高齢化により、激減していると伺った。何か、みんなで楽しめる種目はないかというリクエストがあった。このようなニーズに対して卓球バレーは力を発揮する。最初にルール説明をして、すぐに試合で盛り上がった。今後も是非、取り組んでいただき、県大会に参加するようになったら盛り上がりそうですね～



『車いすカーリング』練習会を開催！

- ◆期日：令和2年8月21日（金）～9月以降も継続します！
- ◆会場：みちのくコカ・コーラボトリングリンク（盛岡市）
- ◆レポート：この事業は、現在、競技として取組んでいる種目に加え、冬季パラリンピック競技種目等の複数種目にチャレンジできる環境作りを通して、パラスリートの競技選択や活動機会の拡張を図ることを目的とする県の新規事業である。今年度は、チーム練習会を通して選手育成を行い、岩手県チームとして青森遠征を目指し、取り組んでいる。

練習会場のみちのくコカ・コーラボトリングリンク（盛岡市アイスリンク）は、スピード・フィギュアスケート、カーリングの通年練習が可能である。このような恵まれたスポーツの施設財産を是非、活かしていきたい。



▲車いすカーリングは1チーム4名で行い、うち少なくとも1名は女子選手を入れることとなっている。

『マリンスポーツ体験教室』を開催しました！

- ◆期日：令和2年8月22日（土）
- ◆会場：リアスハーバー宮古（宮古市）
- ◆レポート：この事業は、2003年から開始。2011年の東日本大震災により、拠点施設であるリアスハーバー宮古が全壊し、一時中断しましたが、施設は希望郷いわて国体に併せて2014年に復旧。その後、2017年に再開しました。今回で17度目の開催となります。

当日は、比較的涼しい気候に海も穏やかで絶好のコンディションでした。参加者10名のうち、車いす利用者が3名です。ここ数年は同じメニューで午前中にシーカヤック、午後にボートクルージングを実施しています。午前のシーカヤック体験において一番苦勞するのは、カヤックへの移乗とフィッティングです。ここは、PTやOTの皆さんからサポートをいただいています。また、障がいにより、パドル操作に不安がある人でも、二人乗りカヤック使用、安全に楽しむことができます。午後のボートクルージングは、浄土ヶ浜などの観光名所やビュースポットを海から眺めます。絶景に加え、スピード感満載の贅沢なアトラクションという感じで参加者からも大好評です。



▲①まずは、陸上でパドル練習です。②車いすからカヤックへの移乗はPT、OTがいるとスムーズに行うことができます。③午前中は、シーカヤックで海の散歩を楽しみました。午後のボートクルージングの様子。後ろにはローソク岩が見えます。④今回もご協力いただきましたリアスハーバー宮古、NPO法人いわてマリフィールド、宮古市シーカヤック協会の皆さんと記念撮影！

『ボッチャ講習会』を開催しました！

- ◆期日：令和2年8月30日（日）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆①9:30～11:30、②13:00～15:00
- ◆レポート：講師を予定していた日本ボッチャ協会強化部長の村上光輝氏は、コロナ禍によるリスクを考慮して急遽、参加できなくなりました。そこで、当協会がバトンを受け、ボッチャ講習会を午前と午後の2回に渡り、実施しました。参加者は午前・午後とも25名程度。

簡単なルール説明に続き、参加者を9チームに分け、ボッチャ大会を企画しました。1コートにつき3チームのリーグ戦を行います。試合は2エンドマッチで行い、同点の場合は代表者によるファイナルショットで勝敗を決めます。対戦のないチームが審判を担当して、プレーと審判を体験していただきました。今回は、地区レベルの交流事業としての一例を示すことがメインです。意外と簡単に取り組めることを実感していただけたように思います。

地域の交流事業に是非、ボッチャや卓球バレーを採用いただきたいと思います。引いて言うとボッチャが地域に根付くとそれだけ、障がいのある方々のスポーツ参加の可能性が広がると考えられます。



▲①午前は盛岡市スポーツ推進協議会の主催事業として開催しました。②午後は一般参加OKです。参加者はプレーだけではなく、審判も体験していただきました。

掲示板

-BBS-

事業詳細や活動団体の紹介、様々なニュースやおすすめのイベント情報等をピックアップ！皆様からの情報もお待ちしています！

第1回岩手県パラ陸上記録会を開催します！

- 期日：10/3（土）10:00～15:00
- 会場：日居城野陸上競技場（花巻市）
- 対象：ジャパンパラリンピック出場を目指している方や日頃から競技として陸上に取組んでいる方等
- 規則は、ジャパンパラリンピックと全国障害者スポーツ大会の競技規則を本記録会用にアレンジします。



自己記録更新を目指せ！

気仙沼市・一関市障がい者スポーツ協会交流事業

- ～卓球バレー交流会を開催～
- 期日：10/4（日）
- 会場：藤沢体育館
- 日程：10：30～15：00
- 対象：地域、障がいの有無を問いません
- 内容：卓球バレーの体験、ルール説明、参加チームとの交流戦、審判練習等



今年で通算3度目の開催となります

岩手県卓球バレー交流大会を開催します！

- 期日：10/18（日）
- 会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- 日程：10時～15時半（受付9時半）
- 参加対象：障がいの有無を問わずどなたでも参加可能です。
- 内容：卓球バレーの交流大会を行います。チャレンジクラス（競技性重視）、わんこクラス（親睦・交流が中心）、体験クラス（初めての方も参加OKです）を選択可能です。

障がいのある人もない人も一緒に！

今後の卓球バレー大会予定

- *パラリーナ杯卓球バレー交流大会
- 期日：11/1（日）
- 会場：パラリーナ（盛岡市青山）
- *卓球バレー宮古交流大会第2回さんてつカップ
- 期日：11/3（火祝）
- 会場：宮古市総合体育館（宮古市）
- *卓球バレー大船渡交流大会
- 期日：12/6（日）
- 会場：大船渡市民体育館（大船渡市）
- ※新型コロナウイルスの影響により、中止または延期する場合があります。

障がい者スポーツ応援シャツ

『SUKE de KERO』

■絶賛販売中！購入希望の方は当協会ホームページをご覧ください！



☆品番（生地とプリントの色の組合せ）

品番	生地色	文字色
①	紺	白
②	紺	オレンジ
③	紺	ピンク
④	紺	白
⑤	紺	オレンジ
⑥	紺	ピンク
⑦	白	紺
⑧	白	オレンジ
⑨	ホワイトブルー	白
⑩	緑	白
⑪	緑	オレンジ
⑫	オレンジ	白
⑬	オレンジ	紺
⑭	紫	白
⑮	紫	紺
⑯	赤	白
⑰	赤	紺

☆サイズ表 ※下記以外のサイズについては、お問合せください

身長	150	55	S	M	L	LL	3L	4L	5L
肩幅	59	62	65	68	71	74	77	80	82
身長	42	44	47	50	53	56	60	64	68
身長	40	42	44	46	48	50	53	56	59
身長	18	19	20	21	22	23	25	26	27

☆価格表（税込）

タイプ	シャツ (T)	価格
Aタイプ	シャツ (T)	2,000円
	ポロシャツ (P)	2,500円
Bタイプ	シャツ (T)	2,300円
	ポロシャツ (P)	2,800円

☆送料（目安）

枚数	送料
1枚	100円（メール便で発送します）
2～20枚まで	400円
21～30枚まで	600円（宅急便での発送になります）
31枚以上	送料別定



Aタイプ Bタイプ 背中
上のサンプルは紺×オレンジの組合わせです

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします！ ※岩手県障がい者スポーツ協会は、このアプリのインストールを推奨いたします！

接触確認アプリ ～プライバシーへの配慮と接触の通知の仕組み～

- 接触確認アプリは、本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができます。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

＜プライバシーに最大配慮＞

厚生労働省

利用に同意

アプリをインストールして利用

※仕様は開示する

- ・電話番号、位置情報など個人が特定される情報は記録しない
- ・どこで、いつ、誰と近接したか、互いにわからない
- ・近接に関する情報（ランダムな符号）は端末内のみで保持し、14日経過後に自動で無効となる
- ・利用の同意はいつでも撤回し、アプリを削除して、記録を消去できる

＜ブルートゥースによる接触の検知＞

Bluetooth

- ・ブルートゥースにより、1メートル以内、15分以上接触した可能性を検知
- ・ブルートゥースをオフにすると記録しない
- ・消費電力の少ないブルートゥースを使用

＜陽性者との接触の可能性を通知、検査の受診などを案内＞

国・自治体では、個人情報や陽性者と接触者の関係はわからない

厚生労働省

通知サーバー

保健所

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）

PCR陽性

陽性者の把握、健康観察等（処理番号を交付）

近接した可能性を通知、陽性者・接触者外来等の受診までをアプリまたはコールセンターで案内

処理番号の確認結果を回答

案内された陽性者・接触者外来に予約、受診

陽性者からの通知である旨を処理番号で照会

処理番号の確認結果を回答

案内された陽性者・接触者外来に予約、受診

④の処理番号は、アプリではなく、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムから、本人が同システムに登録した携帯電話のSMS又はメールアドレスに送付

・PCR陽性でない方が登録しないよう、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムから処理番号を本人に発行し、本人がアプリで入力する。

・通知を受けた方には、帰国者・接触者外来等の受診までを、アプリまたはコールセンターで案内する。

・通知を受けた方が検査を受ける場合、検査に係る本人の費用負担は発生しない。

知らないうちに、拡めちゃうから。



厚生労働省

2020年6月22日から72日間使用中

陽性者との接触を確認する

新型コロナウイルス陽性と診断されたら
周りの人達を守るために遅くまでの陽性者へのご連絡をお願いいたします。

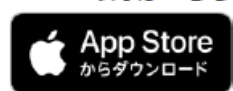
陽性情報の登録

本アプリを広めましょう
本アプリは多くの方に使っていただく効果を発揮します。

アプリを周りに人に知らせる

画面イメージ

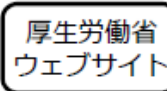
iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



会員紹介 -Our Partners-



いつもあたたかいご支援をいただきありがとうございます！

(令和2年9月2日現在 敬称略・五十音順)

賛助会員一覧 (団体)

(株)アイエムアイ	(株)アイシーエス	(株)IBC 岩手放送	(株)青紀土木
(一社)岩手県医師会	(一社)岩手県建設業協会	岩手県産 (株)	岩手スポーツ用品販売 (株)
(一社)岩手県理学療法士会	いわて生活協同組合	岩手電工 (株)	岩手電力 (株)
(株)岩手日報社	岩手雪運 (株)	岩手リオン補聴器センター	(株)ヴィクトリア ネクスカンパニー
江刺岩手ライオンズクラブ	(株)遠忠	(株)カガヤ	(株)川徳
(株)菊地建設	(株)北日本銀行	(株)久慈設計	小岩金網 (株)
(株)小林精機	(株)志百家	(株)寿広	白金運輸 (株)
(有)タイガースポーツ	(株)テレビ岩手	(株)中野製麺	(株)日盛ハウジング
日本身体障害者団体連合会東北事業所	(株)長谷川建設	府金製粉 (株)	(株)藤沢体育堂
みちのくコカ・コーラボトリング (株)	宮城建設 (株)	(株)宮澤商店	名鉄観光サービス (株) 盛岡支店
(株)明和土木	盛岡商工会議所	(株)ヤマイチ	(株)やよいデライト
(株)ユニバース	菱和建设 (株)		

賛助会員一覧 (個人)

白畑 由貴子	菅 里美	平藤 淳	藤村 誠	堀川 裕二			
--------	------	------	------	-------	--	--	--

バナー広告掲載中！

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下 28 団体のバナー広告を掲載中。この他、掲載依頼がありましたら随時、当協会 HP にアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。

正会員一覧 (団体)

岩手県 ID バasketボール連盟	(一社)岩手県作業療法士会	(社福)岩手県視覚障害者福祉協会
(社福)岩手県社会福祉協議会	(社福)岩手県社会福祉事業団	(社福)岩手県身体障害者福祉協会
(NPO)岩手県精神保健福祉連合会	岩手県知的障がい者サッカー連盟	岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ
岩手県特別支援学校連絡協議会	岩手チアスキークラブ・イーハトーブ	サークル「ゆうの会」
(社福)自立更生会	全国脊髄損傷者連合会岩手県支部	(社福)手をつなぐ
(株)トラスト保険	ドルフィンズ岩手	ラッセル岩手

正会員一覧 (個人)

阿部 史憲	伊藤 昇	井上 勝巳	井上 君之	今宮 正彦	岩淵 典仁	上村 弥
及川 貞之	小江 巧	小原 敏弘	軽石 義則	菊池 幸子	小坂 亜純	佐々木 君夫
佐々木 茂	笹木 正	佐々木 満	佐藤 勝士	佐藤 慎二	佐藤 隆秀	佐藤 佑哉
篠原 政良	白藤 友一	菅原 幸二	高橋 修	中野 正紀	野辺地 省吉	藤井 公博
三浦 拓朗	民部田 誠	横沢 高德				

◆会員の募集について◆

「Sports For All」の考えに基づき、障がいのある方々が一人でも多く、いつでも気軽にスポーツに参加できるように取組んでまいります。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします！

区分	金額
賛助会員	個人 1口 1,000円
	団体 1口 10,000円
正会員	個人 1口 1,000円
	団体 1口 5,000円

*** 問合せ先 ***

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3
 (一社)岩手県障がい者スポーツ協会
 TEL 019-637-5055
 FAX 019-637-7626
 E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp
<https://www.iwate-adaptive.or.jp/>